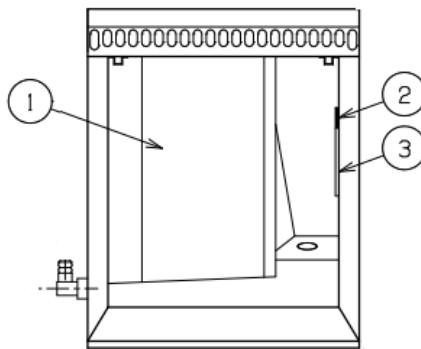


卓上ガスフライヤー 取扱説明書

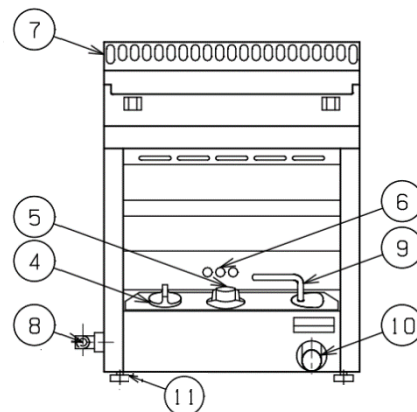
1. 各部の名称



【油槽（上から見た様子）】



【正面】



サイズ:W400×D510×H400 mm/(バックガード高 65 mm)
 LP ガス消費量:5.81Kw(0.42 kg/h)
 油糧:12L
 重量:25 kg

①	油槽	⑦	煙突カバー
②	ハイリミット感熱棒	⑧	ガス接続口
③	サーモ感熱棒	⑨	排油コックハンドル
④	ガスコック	⑩	排油口
⑤	サーモスタット	⑪	アジャスト
⑥	のぞき窓		

【付属品】



スクイ網



フタ



前カゴ



仕切網

2. 本体の設置

- ① アジャストを回して本体を水平に据付けてください。
(壁などから 15 cm以上離して設置してください)
- ② LP ガスのガスホースを接続口に取り付け、止め具で固定してください。(ガス接続口 LP ガス 9.5 mm)

3. 油槽の準備

- ① 油槽内の水気を十分にふき取ってください。
(油槽内の汚れが気になる場合は、一度油槽に水を入れ沸騰させてきれいに洗ってください。
洗った後は排油ハンドルを 2~3 回動かして完全に排水し、水気をきれいにふき取ってください。)
- ② 油槽内に仕切網をセットします。
- ③ 油切りアミ(前カゴ)を差し込みセットします。
- ④ 排油ハンドルが「閉」になっていることを確認してから油槽に油を入れてください。
※感熱棒が正しい位置にあり、十分に油に漬かっていないと油が過熱して火災発生の危険があります。
※油は油槽の上限高さより 5 cm低い位置まで(約 10~11L)入れてください。

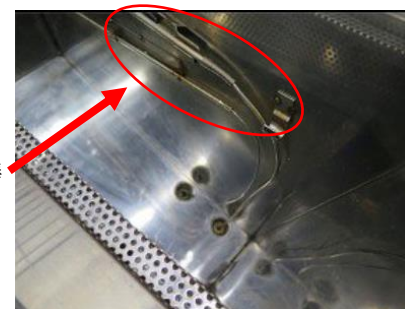


前カゴ

仕切り網



感熱棒



(仕切り板セット前)

4. 点火方法

- ① プロパンガスの元栓を全開にしてください。
- ② サーモダイヤルを回し、希望の油温を設定してください。
(160～220℃まで設定可能)
- ③ ガスコックを **止** の位置で押し込みながら **点火** の位置まで押し回し、パイロットバーナーの点火を確認する。
※点火確認後はそのまましばらく約 20 秒押し続けて下さい。
※点火しない場合は一旦ガスコックを **止** の位置に戻し再度操作を行ってください。
※それでも着火しない場合:器具栓ツマミを **点火** まで押し回したままの状態、のぞき窓からチャッカマンをさし入れて直接バーナーに点火をしてください。
- ④ パイロットバーナーの点火を確認後、ガスコックから一旦手を離し、さらに **開** の位置まで回してください。
メインバーナーに点火します。
※設定した油温に到達するとメインバーナーの炎は消えます。
- ⑤ 設定した油温に到達したら調理開始可能です。



5. 消火方法

- ① ガスコックを **開** から **点火** に戻し、更にガスコックを押し込んで **止** まで戻してください。
※消火を確認してください。

6. 排油

- ① 油槽の油が冷めてから排出してください。
- ② 排油受けの容器は間口の広いものをご用意ください。
- ③ 排油レバーを開く際はヤケドにご注意ください。

7. その他

【1】下記の原因でフライヤー内の油温が異常上昇した場合などに、発火事故を防止する為に取り付けられたリレーが作動し、バーナーへのガス供給を遮断する機能があります。

1. 機械内部への風の吹き込み
2. フライヤー油槽内の油量不足
3. 本体機器の傾きによる部分加熱
4. サーモスタッド機能の異常
5. 加熱器具(バーナー)の機能の異常
6. プロパンガス供給機能の異常(調整器の故障、ガス種・ガス圧の異常)

【2】次の症状で加熱バーナーの火が消えてしまった場合は①～③の順で対応してください。

①症状

1. パイロットバーナー(種火)は点火する
2. 点火位置まで回すと、押ししている間のみ点火するが、手を離すと火が消える。
3. 何度点火作業をしても上記2点の現象が起きる。

②火が消えた原因を解決する

1. 風の吹きこみが無いか確認する
2. 本体が傾いていないか確認する
3. プロパンガスが無くなっていないかを確認する
4. 油量が規定値より少なくなっていないか確認する
5. サーモスタットの温度調整が低すぎないか確認する
6. プロパンガスの調整器を交換する

③上記②のチェックを行い異常が無い事を確認したら、下記の要領で再度点火作業を行う

1. プロパンガスのコックを開き、(すぐに点火を行わず)1分程度待つ
2. 点火コックを押し込みながら種火の位置まで回し、30 秒程度そのまま押し続ける
3. コックから手を離れた状態で種火が点火している事を確認する
4. 再度コックを押し込み、ゆっくりと点火位置までコックを回す
5. メインバーナーに点火しているか確認する